エネルギー消費量

	2023年度（MWh）	保証
燃料	147,678	✔
地域冷暖房（DHC）	11,813	✔
購入電力量*	149,619	✔
エネルギー消費量合計*	309,111	✔

*エネルギー消費量合計には以下の再生可能エネルギーの活用量を含まない

再生可能エネルギーの活用量

	2023年度（MWh）	保証
オーナーが管理：敷地内で消費	12	✔
オーナーが管理：敷地外に送電（売電含む）	1,523	✔
テナントまたは第三者が管理	–	
再エネ発電量（敷地内）合計	1,536	✔
オーナーが管理：第三者から購入	79,367	✔
テナントが管理：第三者から購入	9,598	✔
第三者から購入電力量　合計	88,965	✔
再生可能エネルギーの活用量　合計	90,501	✔

GHG排出量

	2023年度 （千t-CO_2）	保証
Scope1	24	✔
Scope2（マーケット基準）	0	✔
Scope3（カテゴリー：13）＊	67	✔
Scope1＆Scope2＆Scope3　GHG排出量　合計	91	✔

*Scope1及びScope2は、オーナー管理資産である湘南ヘルスイノベーションパークを含む計2件を集計対象としている。
*Scope3は、テナント管理資産である厚木マニュファクチュアリングセンターを含む計61件を集計対象としている。
*湘南ヘルスイノベーションパークは自家発電（太陽光）の使用量、再エネメニューの購入量が増加したことで大幅にScope2が減少している。
*Scope3（カテゴリー：13）の67千t-CO_2は、149,388MWhの電力及びその他の燃料に由来している。

水消費量

	2023年度 （千㎥）	保証
水消費量　合計	1,037	✔

エネルギー消費原単位

	2023年度 （MWh/㎡）	保証
エネルギー消費原単位	**0.26**	✔

GHG排出量原単位

	2023年度 （t－CO_2/㎡）	保証
GHG排出量原単位	**0.06**	✔

水消費量原単位

	2023年度 （㎥/㎡）	保証
水消費量原単位	**0.68**	✔

保証対象指標一覧及びクライテリア（算定基準・方法）

Ⅰ. 算定期間：2023年度（2023年2月1日～2024年1月31日）
Ⅱ. データ収集範囲：産業ファンド投資法人（産業ファンド投資法人が保有する物件。底地のみは除外。）
Ⅲ. 保証対象指標及びクライテリア：下記参照。

項目	内容	定義・算定方法等
エネルギー消費量	燃料（都市ガス・A重油・軽油・灯油）消費量 地域冷暖房(DHC)消費量 電気消費量	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法） 地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法） 〈換算〉 燃料消費量／地域冷暖房消費量＝請求書の値×熱量換算係数*1×電力量換算値
再生可能エネルギーの活用量	再生可能エネルギー電気の消費量	再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（再エネ法） ・敷地内における太陽光発電量：当社管理の計測データ等に基づき集計 ・第三者から購入電力量
エネルギー消費原単位	エネルギー消費原単位	エネルギー消費量÷（賃貸面積*2および共用部面積）
温室効果ガス（GHG）排出量	Scope1、Scope2、Scope3排出量	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法） 地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法） 温室効果ガス排出量＝エネルギー消費量×GHG排出係数 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン
温室効果ガス(GHG)排出原単位	温室効果ガス(GHG)排出原単位	温室効果ガス排出量÷（賃貸面積*2および共用部面積）
水消費量	水消費量	水道局からの請求書に基づき集計
水消費原単位	水消費原単位	水消費量÷（賃貸面積*2および共用部面積）

*1 （2023年2月-2023年3月）都市ガス：44.8MJ/N㎥, A重油：39.1MJ/l,軽油：37.7MJ/l,灯油：36.7MJ/l
出典：温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度に基づく算定方法・排出係数一覧、平成27年改正(環境省公表)
（2023年4月-2024年1月）都市ガス：40.0MJ/N㎥, A重油：38.9MJ/l,軽油：38.0MJ/l,灯油：36.5MJ/l
出典：温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度に基づく算定方法・排出係数一覧、令和6年改正(環境省公表)

*2賃貸面積：毎月末の契約書に基づく総賃貸面積(㎡)の年間平均

※準共有持分を保有する物件についても、物件全体に係る面積を算定に使用しています。